

ヒブワクチンの公費助成の実施

国の動向を見ながら検討する



藤井 幸介 議員

Q 平成20年12月に小児の「細菌性髄膜炎」を予防するヒブワクチンが厚労省から認可された

が、任意接種であるため費用負担が大きい。本市において公費での助成を実施できないか伺う。

A (健康・子ども部長) ヒブワクチンの予防接種について、厚労省では、「有効性・安全性等の情報をさらに収集しながら評価を行っていく」として

が、1人1枚とし、併せて「期日前投票・請求書兼宣誓書」も印刷して発送し、投票率の向上につなげていくのはどうか。



投票日や期日前投票について記載されたポケットティッシュを配るなど啓発に努めています(平成21年の衆議院議員選挙)



活用方法が検討されている旧空港ターミナルビル

旧空港ターミナルビルの活用は子育て総合相談窓口として検討



藤井 英子 議員 (平和環境市民クラブ)

Q いわて花巻空港の旧ターミナルビルを活用し、子育て支援の中核施設を設置することだ

が、いづころからスタートし、どのような機能を持つものなのか伺う。

A (市長) 子育てに関する総合相談窓口機能を中核とし、在宅保育家庭の支援や病後児預かり、休日託児所の運営などのほか、障がい者支援ボランティアや青少年健全育成

識し、介護者が休み、集い、交流し相談ができる「(仮称)介護者交流支援センター」を設置する考えはないか伺う。

危機管理対策における情報保護

関係機関との情報共有を図る



小原 雅道 議員 (花巻クラブ)

Q 新型インフルエンザ流行初期に、罹患した県外の中学生が市内に民泊した際、警察が危機管理

の観点から宿泊先を市に問い合わせたが、市では個人情報保護を理由に回答しなかった。事の重大性や危機管理上、情報共有を優先すべきと考える

A (総務部長) 新型インフルエンザの発生については、風評被害も見られるとの観点もあり、県がデータ管理していた時期で対応が混乱したものと反省している。危機管理における個人情報保護の取り扱いは、人命・財産を守る上から関係機関との情報共有を図る仕組みとしており、これを組織全体に徹底させる。

公共施設の維持管理

Q 市には庁舎を始め橋梁や道路、体育館など様々な施設がある。合併による施設増など、今後、修繕費等の増大が予想される。市の維持管理対応の考えを伺う。

A (政策推進部長) これまでも計画的に予算化しており、最小の経費で最大の効果を上げるため、有利な財源や適正な管理手法でサービスに支障が無いよう努めている。



施設等の修繕を計画的に行っています(道路の修繕工事)

旧市町職員間の給与格差の実態

職員給与に格差は存在しない



中村 初彦 議員 (明和会)

Q 合併時に職員給与が調整されて以来、今日まで旧市町出身職員間で給与の格差が生じていると

A (総務部長) 職員給与は、合併前後で人件費を上昇させないとの基本方針を示せ。

Q 新卒者の雇用実態

定者の、就職希望者、内定の実態、市長による企業等への働きかけの経過と今後の方針を伺う。



昨年12月に関係機関とともに市内事業主に対して新規高卒者の採用の要請を行いました